

### 京田辺市長賞

古社参道（油画）／山下義文（京田辺市）  
彼岸花をスケッチしようと、奈良県御所市の高天彦（たかまひこ）神社を訪れたが、なぜか花よりも杉の大木が並ぶ参道に心惹かれた。

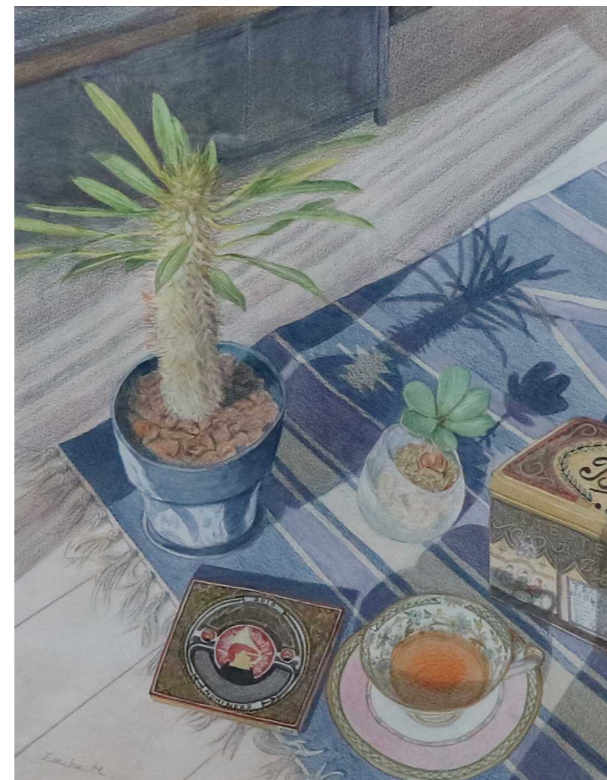
### 京田辺市教育委員会賞

静物（油画）／木下八千代（木津川市）  
油絵教室で、キュビズム風の制作に初めて挑戦した作品です。制作中はいつも楽しい時間だった。



### 京田辺芸術家協会賞

西日の射す部屋（水彩・色鉛筆）  
／森田恵美子（八幡市）  
2月末、一人暮らしを始めた娘。コロナ禍で家族でもなかなか行き来ができなくなり心配していましたが、「新しい家族ができました」と観葉植物に西日があたる写真が届きました。きっと、休日には好きな音楽を聴きながら、新しく迎えた家族とあったかい気持ちでティータイムを過ごしているのかなという想いで制作しました。



### 京田辺市文化協会賞

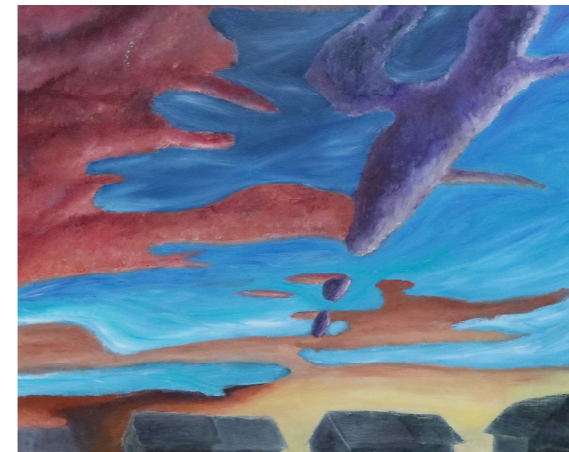
藤（油画）／中島浩（京田辺市）  
奈良の萬葉植物園の藤を描きました。園内は見事に咲き誇る花々で溢れ、どこを切り取っても絵になる光景が広がっていて、構図を決めるのに苦労しました。花たちが醸し出す、豪華で優美な印象を意識して制作しました。



### U18 審査員賞

金魚（アクリル画）／奥野泰生（京田辺市）

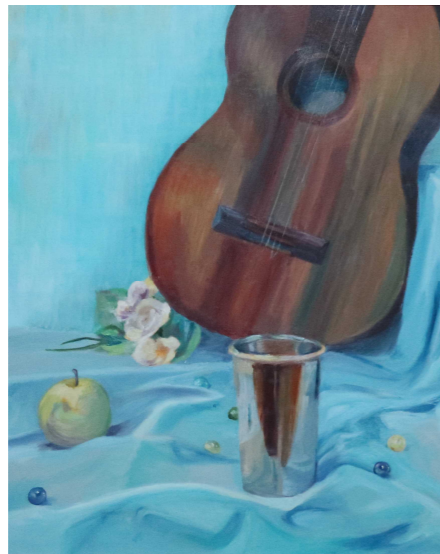
おじいちゃん、おばあちゃんの家で金魚の赤ちゃんが生まれ、見に行ってきました。親は朱文金と、コメットという種類の金魚です。赤ちゃん金魚が大きくなったら、何匹かを家に貰い、飼う予定です。それをとっても楽しみにしていて金魚を描きました。



### U18 審査員賞

偶然（油画）／竹中遼河（宇治市）

空と雲との明暗や、色のグラデーションを意識して描きました。



### U18 審査員賞

休暇中（油画）／平内美有（宇治市）

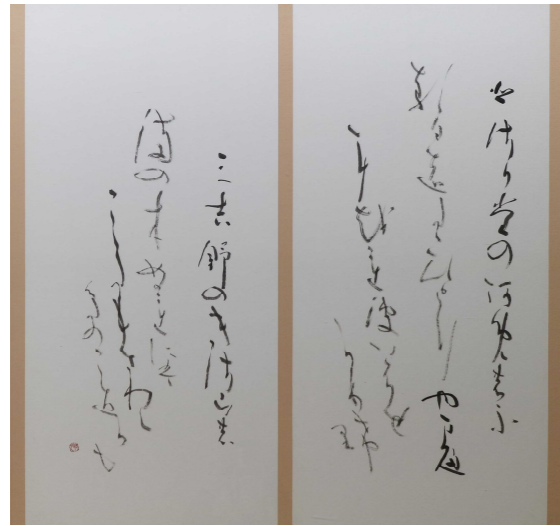
この作品は4月から新しい生活が始まり、急に忙しくなり、さわれていなかったギターが自分の部屋で待っているという絵です。ギターを弾きたい自分と、はやく弾いてほしいギターのワクワク感を出すために、いろいろな色を使ってみました。

### 講 評

京田辺市長賞「古社参道」、山深い古社に至る参道を描いた作品である。山中のでこぼした道をかこみ、生き生きとした草木が、生命の力強さを示してくれる作品である。作品にみられるタッチの早さが、山中にさしこむ光や、その光に育てられる草木の育む様が、暗くなった森の中で生きてくる。

京田辺市文化協会賞「藤」、作品としての完成度は高い作品である。しかし、作品として静かすぎる気がする。川面にかかる藤と奥ゆく藤の花の咲くぐあいの差など、よく描かれているが、もう少しドラマツルギーが欲しい気もした。

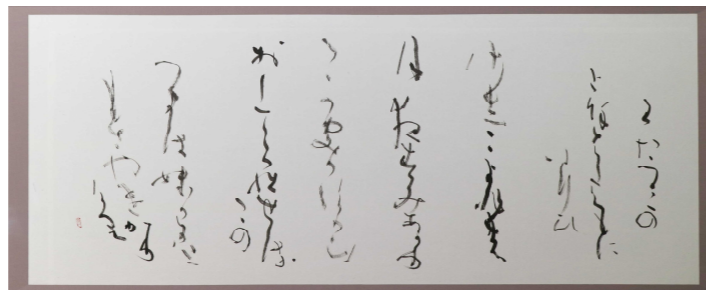
審査員 尾崎真人



京田辺市長賞

山辺/山下真弓 (京田辺市)

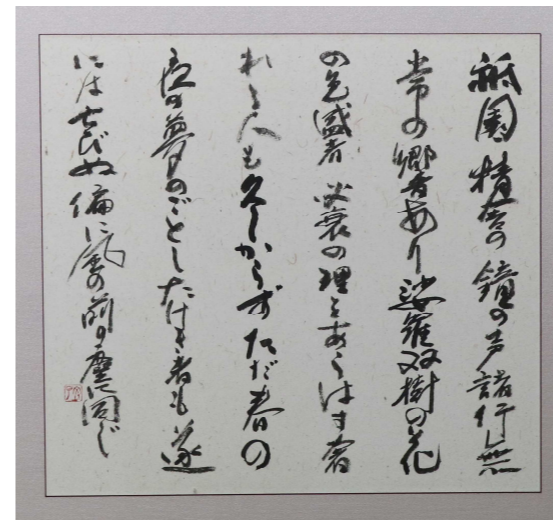
墨の濃淡、行間それと空間の美を意識して二首ですが、流れを作り万葉集からの古の歴史を感じながら一作品として見えるように書きました。



京田辺市教育委員会賞

月/竹多恵 (京田辺市)

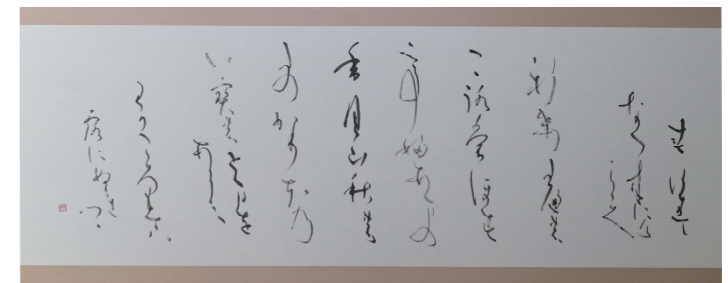
万葉集からの二首です。渴筆のところの線質と潤筆のところの線質を意識し、立体的な作品となるよう努めました。



京田辺芸術家協会賞

平家物語 (冒頭) / 平野佳翠 (京田辺市)

栄華を誇った平家一門の滅びゆく姿とこの世の道理を表した名文を書きたいと思いました。



京田辺市文化協会賞

天の香具山/梅原良代 (京田辺市)

春が過ぎ、夏が来て秋が来る…。日本の四季を思い巡らせ、筆を運びました。

講評

本年は世界的な伝染病の流行により、人々の活動が制限され、芸術活動も新しい提案がストップした年度でした。本展も安定した出品状況ではあるものの、いささか元気がなく、特に漢字部門の出品がかなりの少数であったことで、来年に期待がふくらむところでした。

かな作品は使用されている文字の姿、特に変体かなと漢字に誤字ではないものの、うなずけない部分がかかなり多く散見されました。また全体構成も中央部の盛りあがりやささえる前半や終盤の収め方などもより立体的に考えを深めていただければと思います。

市長賞作品は文字の大小と墨色が優れており、教育委員会賞作品は余白が美しい出来でした。芸術家協会賞作品は漢字とかなの文字の大きさがうまくバランスされ、文化協会賞作品は中央の筆の動きが大変見るべき所のあるものでした。

審査員 日比野実

講評

大変な状況の下、京田辺市展が開催されました事、嬉しく思い、楽しみに審査に伺いました。昨年より若干作品数は減ったようですが、しっかりとした学びの成果が見られる秀作が集まっております。伸びやかで情緒あふれる仮名作品や、工夫を凝らした構成で個性豊かな調和体作品。少し漢字作品が例年より少なくはなりましたが、バラエティーに豊んだ展覧となり、京田辺市展の魅力となっています。

特に調和体では、文字の大小や墨の変化など、書の要素を十分に駆使した表現が見られ感心しました。その中でも京田辺芸術家協会賞の作品は、心地良い行の流れと共に余白の美にも着目され全体としての完成度の高さを示しています。このように書の様々な魅力を表現しつつ、一作に仕上げる書の難しさと楽しさを再確認させて頂きました。

審査員 尾西正成



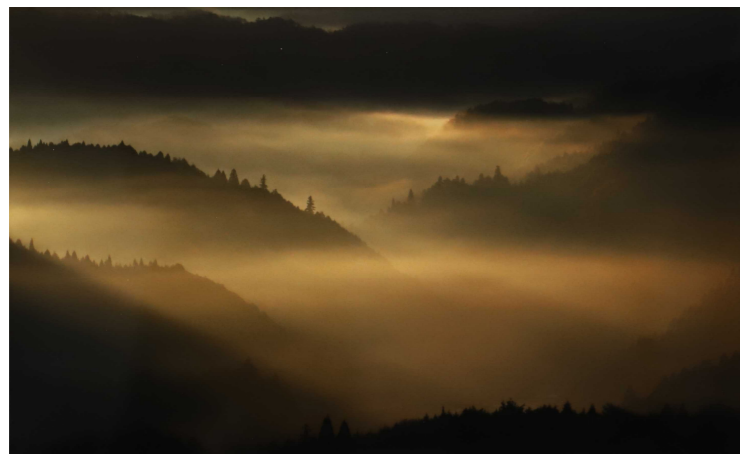
### 京田辺市長賞

ダイビング (京田辺市) / 寺澤淳 (京田辺市)  
毎日の散歩コースの中で馬坂川は小鳥達に会えるのが楽しみであり、会えた小鳥がどんな仕草をしてくれるか楽しみで、その瞬間を撮ることが出来た時の満足感が大きい



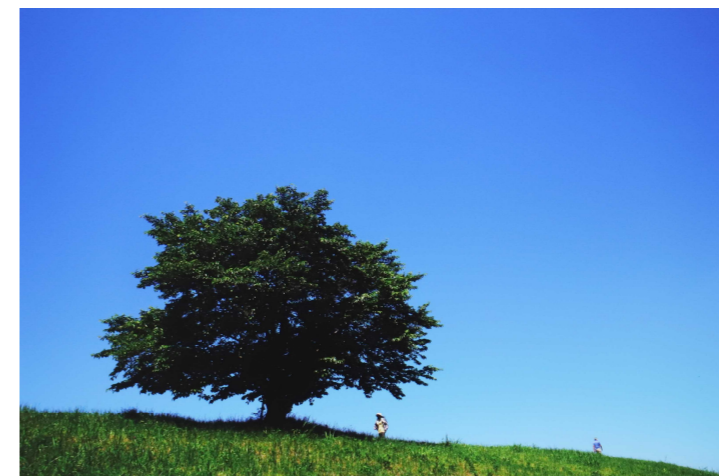
### 京田辺芸術家協会賞

真冬の共演 (宇治田原町) / 向平尚武 (京田辺市)  
年の瀬もせまった良く冷えた朝、茶畑へ行ってみると葉を落とした残り柿に寄りそう様に寒桜が咲いていた。霜で真白になった舞台の上で、2人の役者が演じている姿を想定して立ち位置をきめ撮影した。



### 京田辺市教育委員会賞

朝霧燃ゆ (宇治田原町) / 北村正博 (城陽市)  
初冬の朝の静けさの中、山あいには漂う霧が、朝日に少しずつ赤く染められていく様子を表現した作品です。



### 京田辺市文化協会賞

一本の樹 (城陽市) / 川瀬陽一 (京田辺市)  
木津川の桜並木の中で一際雄姿の一本の樹を、人物の来るのを待って撮っています。



### U18 審査員賞

帰りの時間 (宇治市) / 大槻雅史 (京田辺市)  
晩秋の足取りを急ぐ駅、帰宅後の音楽鑑賞か…それとも、趣味の写真フィルム現像か…それとも、印画紙の引き延ばしか…それとも…何をしようかな…? 考える事が多い帰りの時間!

### 講評

市長賞の「ダイビング」はカワセミの姿を見事に獲らえ躍動感溢れる季作です。翡翠色の美しい鳥ですが、獲物を捕る事は失敗でも、写真は大成功でした。

入選作にも迷いに迷った優秀作がありました。

また、U18 審査員賞には問題点も有りますが、次回に期待を残して…!

審査員 山本一